

2019年12月期 第2四半期 決算説明会

2019年8月8日
THK株式会社
代表取締役社長
寺町彰博

本資料に含まれている事業計画、業績予想、経営戦略など将来の見通しに関する事項は、本資料制作時点において入手可能な情報に基づき、THK株式会社の経営者が判断したものです。したがって、環境の変化により、業績や戦略の進捗状況が異なることがあり得ることをご承知ください。また、当資料には決算開示事項以外の参考情報が含まれますこともご承知ください。

目次

**I. 2019年12月期 第2四半期
決算概要**

II. 主な取り組み

III. 2019年12月期 業績予想

I. 2019年12月期 第2四半期 決算概要

売上高は前年同期比16.9%減少の1,491億円となった

※地域別売上高は
海外売上高ベース

- 米中経済摩擦の影響により中国を中心とする投資の手控えが世界的に広がり、全般的に発注や在庫の調整が進む中、各地域で受注水準は低位に推移した。
- そのような中、半導体関連の投資の拡大や自動化・ロボット化の進展を背景に、それまで高水準に積み上がってきた受注残を着実に売上高へと繋げた。

営業利益は前年同期比46.7%減少の139億円となった

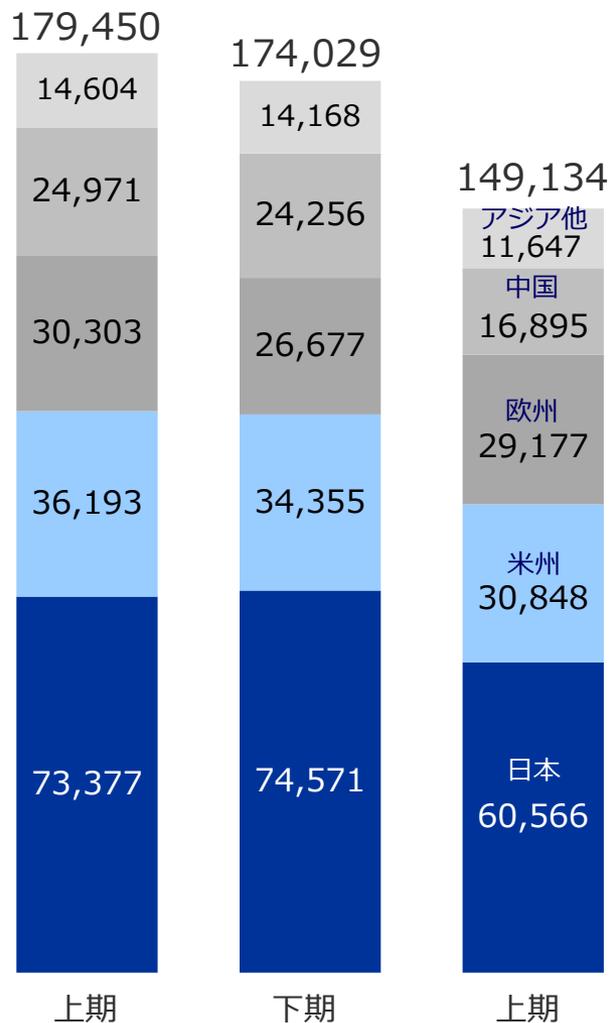
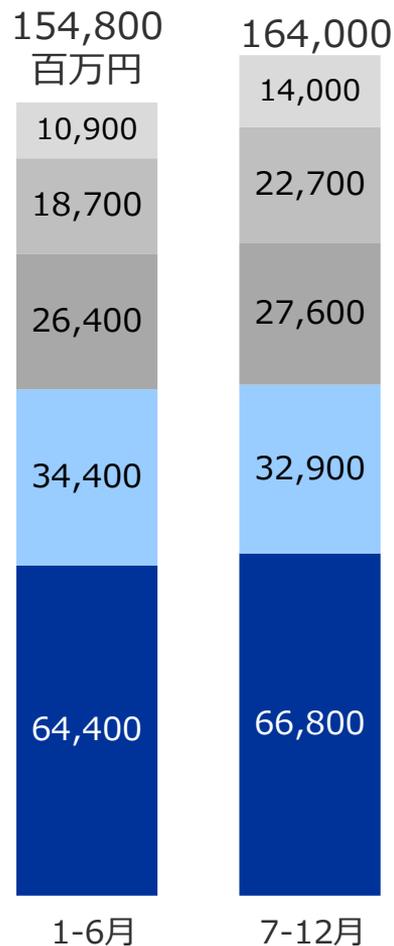
- 需要が調整し売上高が減少する中、コストコントロールにより減益幅の抑制に努めたが、主に売上高の減少により前年同期比で減益となった。

営業利益は期初計画を達成した。

- 受注水準が低位に推移し、売上高が約49億円の未達となる中で、営業利益は期初計画である138億円を達成した。

売上高の推移

変則決算のため全地域を
上期1-6月 下期7-12月に揃えた参考値



※伸び率は参考値

アジア他	
●台湾	△26.0%
●シンガポール	△21.1%
●インド	+3.6%
中国	
●工作機械	△28.3%
●一般機械	△18.4%
●エレクトロニクス	△29.4%
●輸送用機器	△10.4%
欧州	
●工作機械	△4.5%
●一般機械	+2.8%
●エレクトロニクス	△4.7%
●輸送用機器	△4.1%
米州	
●工作機械	△9.1%
●一般機械	+2.1%
●エレクトロニクス	△41.8%
●輸送用機器	△16.8%
日本	
●工作機械	△20.4%
●一般機械	△18.1%
●エレクトロニクス	△31.3%
●輸送用機器	△12.2%

※地域別売上高は

所在地セグメントではなく海外売上高ベース

※業種別伸び率は1-6月累計の現地通貨ベース

※輸送用伸び率はTHKリズムとTRAの合計値比較

邦貨換算レート

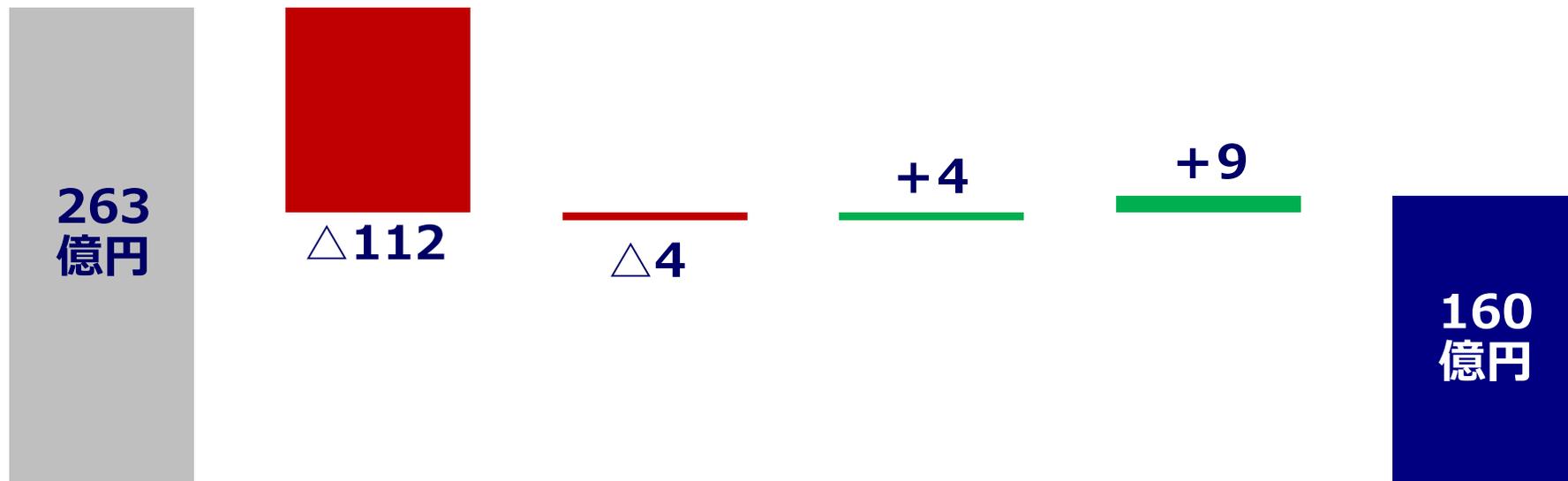
2017/12

2018/12

2019/12

1US\$	112.37	112.01	108.72	112.12	110.05
1EUR	121.63	131.70	131.56	129.17	124.31
1CNY	16.39	16.86	17.07	16.34	16.22

(参考) 営業利益 増減要因 (産業機器事業)



18年度上期
営業利益
(産業機器)

数量効果

為替の影響

固定費
の減少

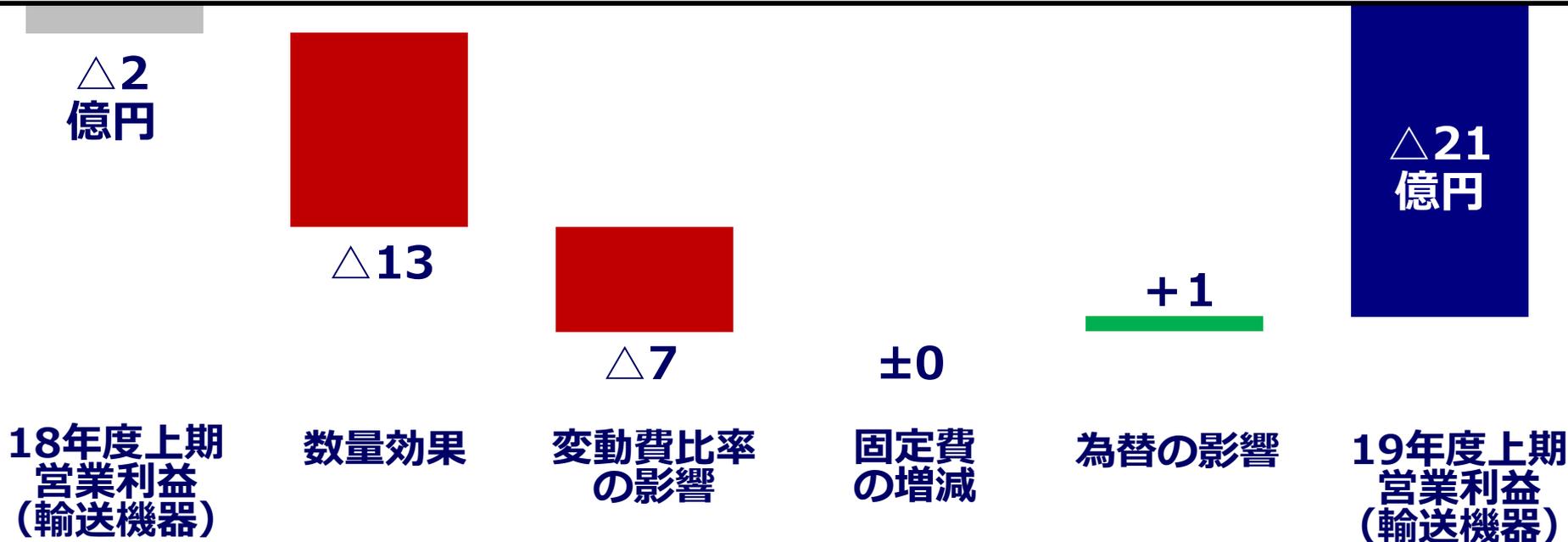
変動費比率
の影響

19年度上期
営業利益
(産業機器)

FY19上期の 事業別実績 単位：億円		FY18		FY19
		1H	2H	1H
産業機器	売上高	1,195	1,191	977
	営業利益	263	243	160

FY19_1H	セグメント別営業利益
日本	10,305百万円
北米	△317百万円
欧州	△10百万円
中国	1,811百万円
アジア他	724百万円
調整額	1,435百万円

(参考) 営業利益 増減要因 (輸送機器事業)



FY19上期の 事業別実績 単位：億円		FY18		FY19
		1H	2H	1H
輸送機器	売上高	599	549	514
	営業利益	-2	-6	-21



- ・ 売上高の減少と変動費比率の影響が営業損失の主な要因
- ・ 変動費比率の影響は、TRAカナダにおける材料価格の上昇やアルミ鍛造の新製品の立上げに伴い想定外の費用が発生したことなどが主な要因
- ・ 下期には徹底したコストコントロールなどにより改善へ

資産・負債/純資産の状況

総資産 474,565 百万円
前期比 +11,634 百万円

現金及び預金 | 前期比 +14,743百万円

営業CF	11,660百万円
投資CF	△17,195百万円
財務CF	22,576百万円
換算差額	△2,298百万円

売上債権 | 前期比 △13,732百万円

売上債権回転月数	前期 3.1ヵ月 当期 3.2ヵ月
----------	----------------------

棚卸資産 | 前期比 +3,476百万円

棚卸回転月数	前期 1.7ヵ月 当期 2.2ヵ月
--------	----------------------

有形固定資産 | 前期比 +9,408百万円

設備投資	16,503百万円
減価償却費	7,067百万円

無形固定資産 | 前期比 △1,775百万円

投資その他の資産 | 前期比 △121百万円

流動資産
289,003

前期比 +4,122

固定資産
185,562

前期比 +7,513

負債
177,868

前期比 +9,656

純資産
296,697

前期比 +1,978

流動負債 | 前期比 △18,764百万円

■ 仕入債務 前期比	△7,916百万円
仕入債務回転月数	前期 1.7ヵ月 当期 1.7ヵ月

■ 未払法人税等 | 前期比 △8,739百万円

■ 1年内返済予定の長期借入金 | 前期比
△10,000百万円

■ 1年内償還予定の社債 | 前期比
+10,000百万円

固定負債 | 前期比 +28,419百万円

■ 社債 | 前期比 +10,000百万円

■ 長期借入金 | 前期比 +17,815百万円

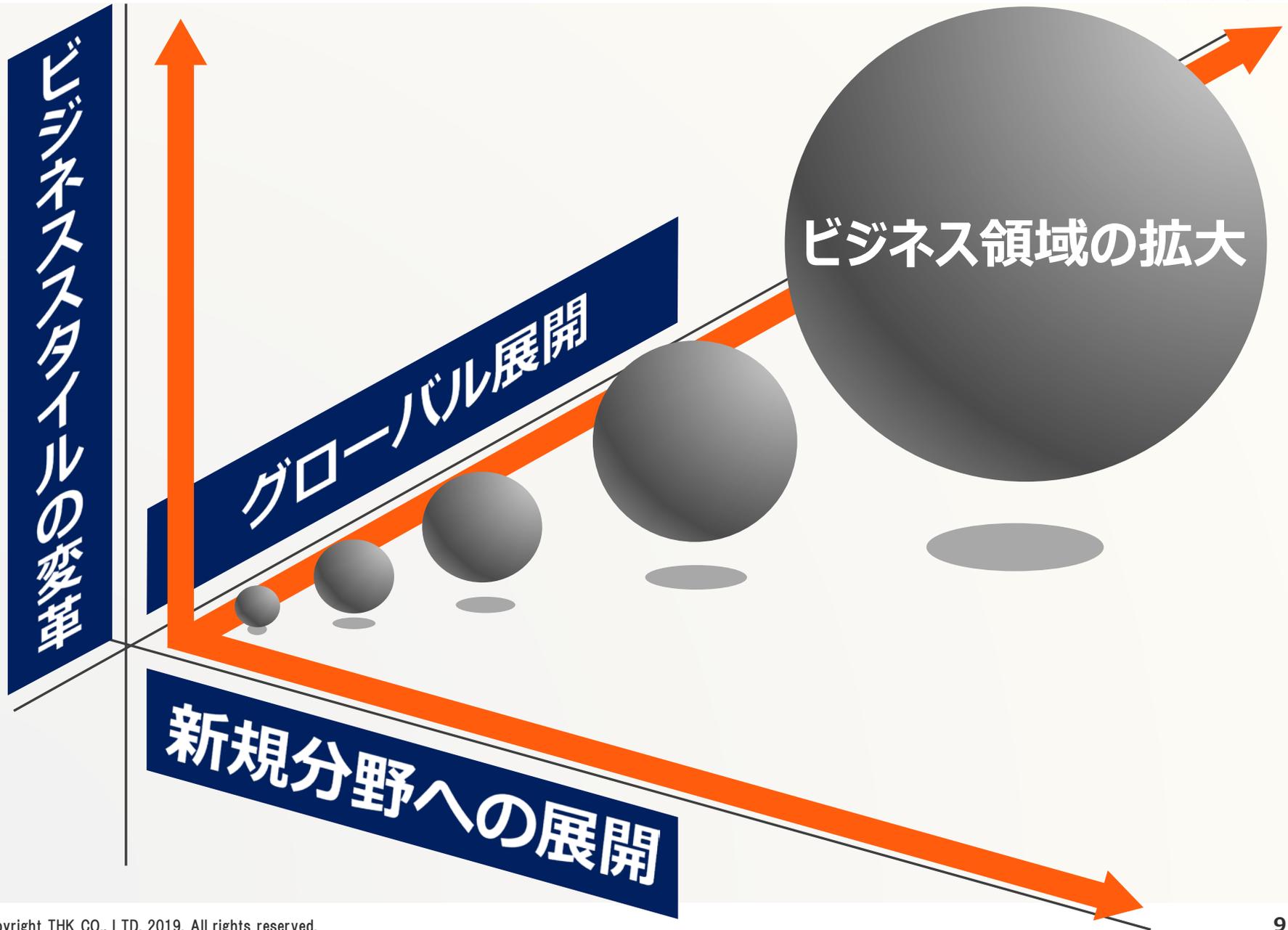
親会社株主に帰属する当期純利益 9,855百万円

為替換算調整勘定 | 前期比
△3,341百万円

配当金の支払い △4,887百万円

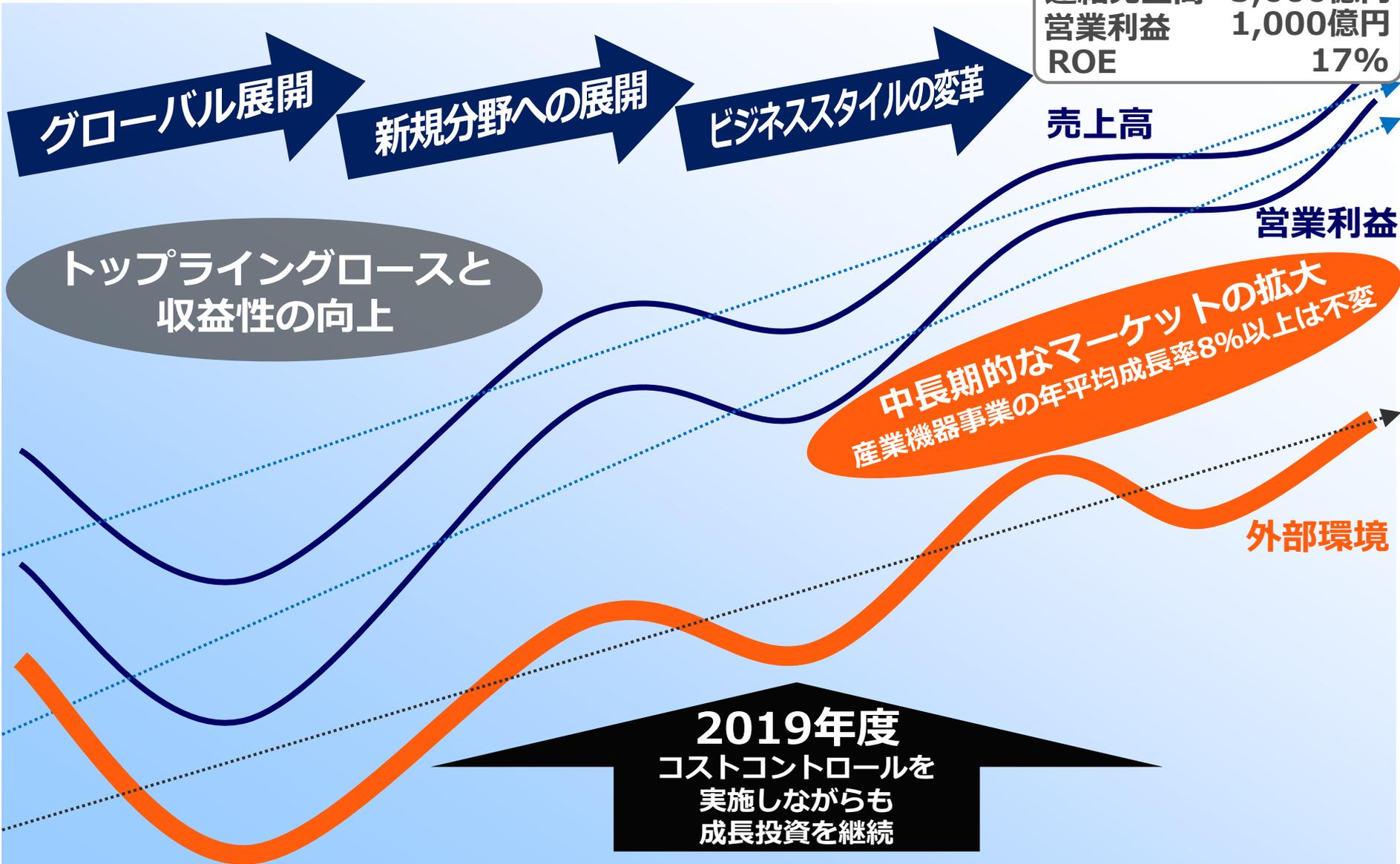
※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

Ⅱ. 主な取り組み



経営環境認識と当社の戦略

2022年度	
連結売上高	5,000億円
営業利益	1,000億円
ROE	17%



中長期的なマーケットの拡大

メガトレンド

テクノロジーの変化
(デジタル
ディスラプション)

地球環境の変化
(保護機運の高まり)

マクロ動態の変化
(先進国における
人手不足
長寿命化)

変化のキーワード

AI・IoT

5G

CASE

Industry
4.0

自働化
省人化

省エネ化

THKのソリューション

ニーズ

高品質
な部品

見える化

電動化

半導体関連向け
FA関連向け
製品

サービスロボット
関連製品

医療機器向け
製品

Omni THK
OMNI edge

電動
アクチュエータ

次世代
自動車部品

THKの成長ポテンシャルは飛躍的に拡大

各事業における主な取り組み

FY2019_1H
産業機器事業
売上高 977億円
前年同期比 18.3%減

FY2019_1H
輸送機器事業
売上高 514億円
前年同期比 14.1%減

トップライン拡大

幅広い顧客向けの販売
アクティブ且つ効率的営業活動
継続的新製品開発
新規分野の開拓
グローバル生産体制の拡充



FY2019_1H
連結売上高
1,491億円
前年同期比
16.9%減

L&S事業拡大
自動車向け新製品



ボトムライン強化

【産業機器事業】

- 1. ロボット化・自動化
- 2. グローバル生産の見える化
- 3. 各種費用の効率化
- 4. 適正販売価格戦略

【輸送機器事業】

- 1. 工場相互利用
- 2. 購買の共同化
- 3. 製品統合

IoT/AIを活用した新しい顧客価値体験の創造と提供に向け活動推進中

Fast Delivery 標準品・セミオーダー品の短納期対応機能

2017年 ASEAN開始
2018年 日本・中国・ブラジル開始

2020年 欧州開始
他国展開

Your Catalog 特殊品図面管理機能/新規製作検討依頼のデジタル化

開始準備

2019年7月 日本開始

2020年 他国展開

Forecast お客様の需要予測とTHKの製造予定の照合による予実管理機能

開始準備

2019年7月 日本開始

2020年 他国展開

OMNIedge LMガイドの状態の見える化と「IoTコネクシステム」からなる設備の予兆検知の新サービス

開始準備

2019年 トライアル実施
(100社超)

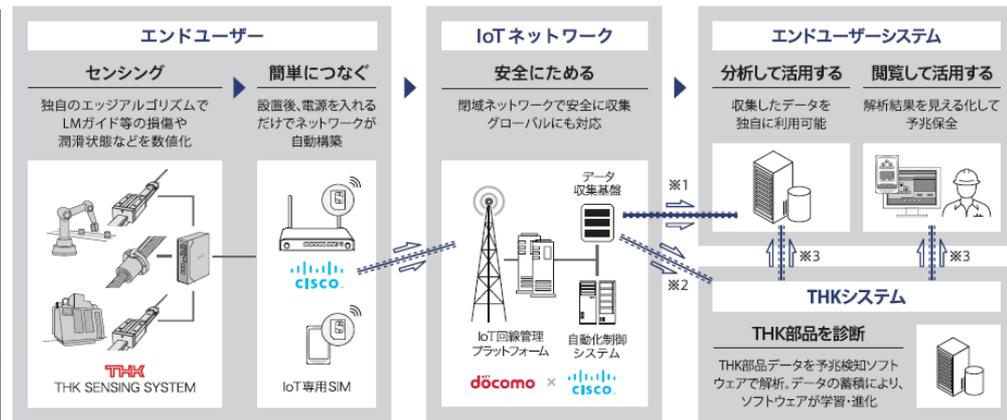
2020年 日本商用化
他国展開

現在の進捗状況

- 100社超にて無料トライアル実施中
- 価格・プランを検討中
- LMガイドに加え、ボールねじもトライアル開始

今後の予定

- 2019年9月 海外展開を見据え、欧州EMOショーに出展
- 2020年1月 日本でサービスイン



各国毎にローミングや現地SIM、eSIMなど最適な回線設定が可能です。

※1: THK部品データとお客様データを収集
 ※2: THK部品データのみ収集 ※3: THK部品解析データを提供

グローバル生産体制の拡充

THK India

新工場 2020年1月稼働予定
品目：LMガイド
購入土地面積：約205,000m²
第一期床面積：約 34,000m²



山形工場(日本)

増築新工場
2019年3月完成



品目：アクチュエータ
ボールねじ
LMガイド
床面積：約32,000m²

TMV(ベトナム)

増築新工場 2018年11月完成

品目：ミニチュア
LMガイド
床面積：約16,000m²



新規分野の開拓

人手不足・人件費高騰、及びIoTの進展を背景に拡大する
サービス産業の省力化をお手伝い

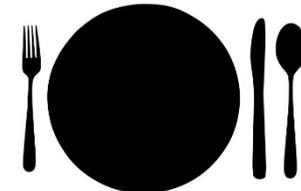
物流



ショップ



レストラン



医療機器



従来からの新規分野

航空機



再生可能
エネルギー



免震・制震

Home Automation



物流センターにおけるアイテムピッキング作業の自動化を実現



※現場イメージ



東急建設、THKで建設現場用搬送ロボットの実証実験を開始

THKが独自開発した自律移動制御システムを搭載した建設現場などの半屋外環境で搬送作業を自動化するための搬送ロボット



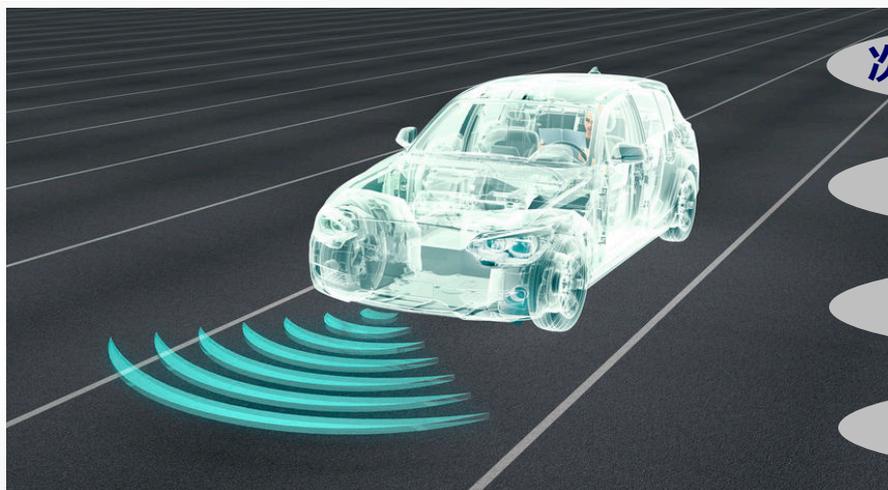
L&S事業拡大

リズム・TRA相互の
販売・生産を活かした
受注活動を展開中



自動車向け新製品

“CASE”を追い風に
自動車向け直動製品の
開発を加速



次世代サスペンション部品

次世代ブレーキ部品

電動ステアリング部品

インテリア

大型案件に向けた増産投資継続中

THKリズムメキシカーナ
2018年完成



THKリズム九州
2019年完成



THKリズムノースアメリカ
2019年完成



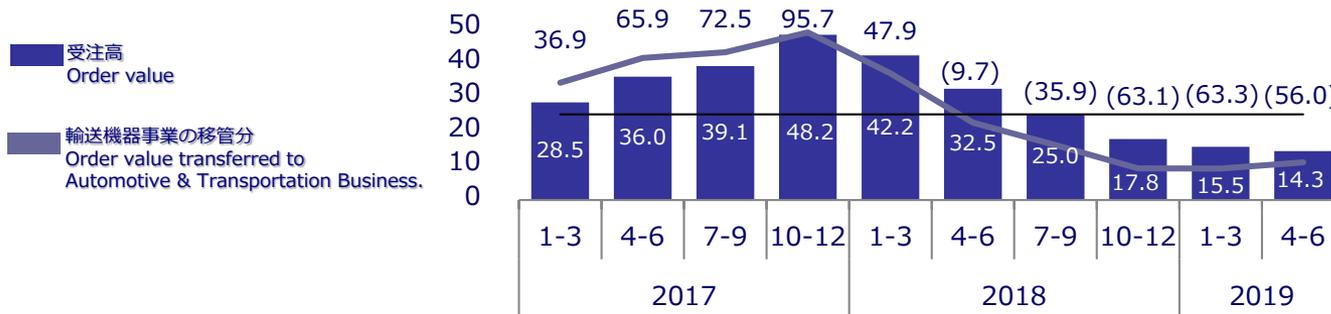
THKリズム常州
2019年完成予定



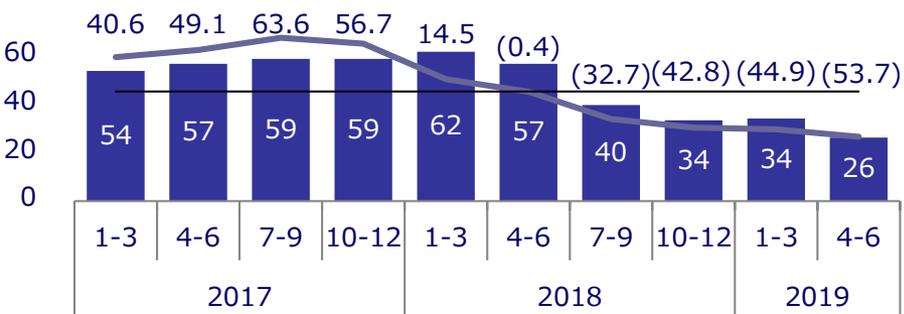
Ⅲ. 2019年12月期 業績予想

地域別受注状況（産業機器事業）

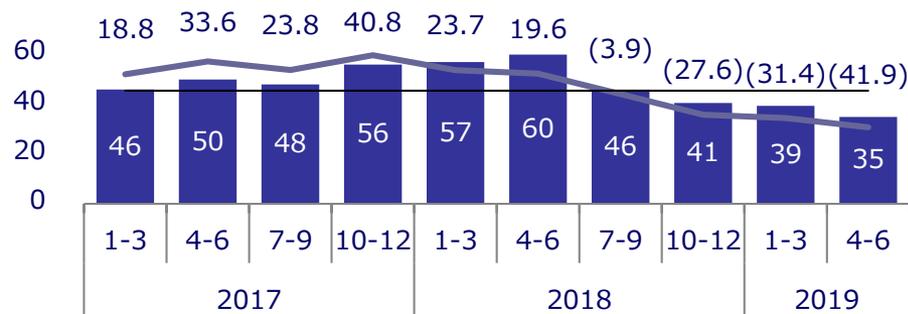
THK国内 *輸出を除く 前年同期比、十億円



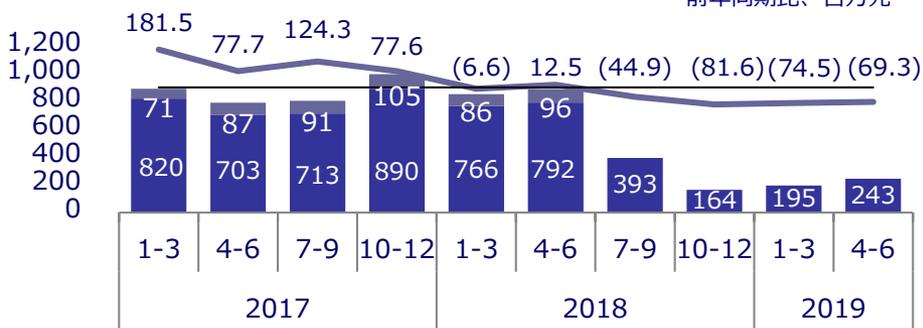
THK Europe 前年同期比、百万ユーロ



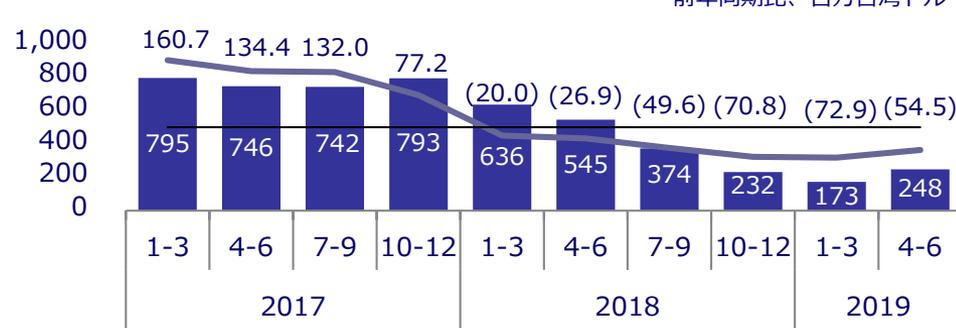
THK Holdings of America 前年同期比、百万ドル



THK (CHINA) CO., LTD. + THK (SHANGHAI) 前年同期比、百万元



THK TAIWAN 前年同期比、百万台湾ドル



*輸送機器事業を下記の通り移管したため、その分を考慮のうえ遡及修正しております。なお、前年同期比は輸送機器事業控除後の数字より算出しております。

- <中国>2018年7月より THK RHYTHM 広州とTHK RHYTHM 常州に移管
- <欧州>2017年1月より THK RHYTHM AUTOMOTIVE GmbHに移管
- <米州>2016年7月より THK RHYTHM NORTH AMERICAに移管

利益計画（連結）

	2019/12		2018/12
	通期計画	上期実績	実績 (※前期比は参考値)
売上高	310,000	149,134	353,479
前年同期比	△12.3%	△16.9%	+10.9%
営業利益	28,000	13,949	49,832
前年同期比	△43.8%	△46.7%	+36.9%
経常利益	30,000	14,787	51,758
前年同期比	△42.0%	△45.3%	+35.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	22,000	9,855	35,400
前年同期比	△37.9%	△49.7%	+16.8%

※伸び率は前年度を1-12月ベースに直して比較した参考値

利益計画（単独）

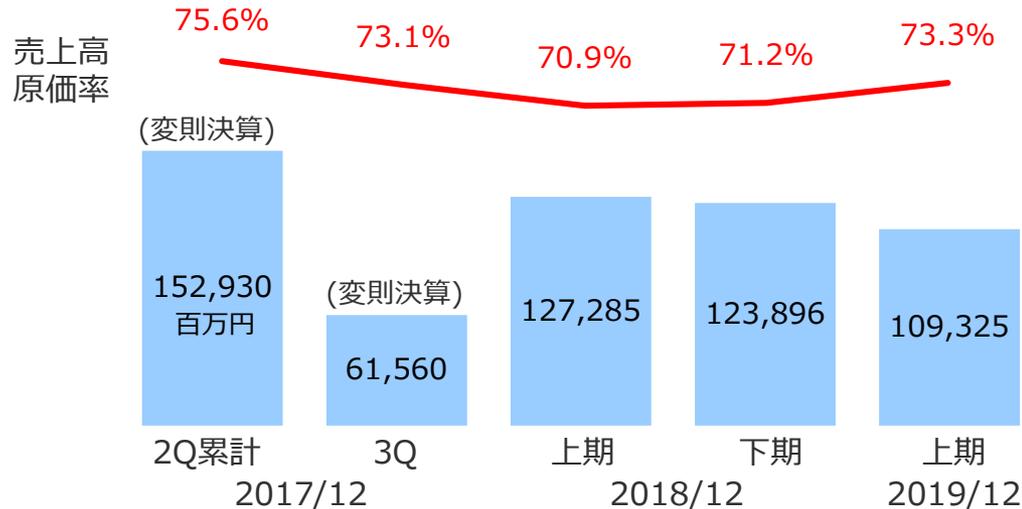
(百万円)

	2019/12		2018/12
	通期計画	上期実績	実績 (※前期比は参考値)
売上高	151,000	75,239	186,311
前年同期比	△19.0%	△16.3%	+17.8%
うち国内	105,700	51,423	126,899
前年同期比	△16.7%	△18.2%	+19.0%
営業利益	16,700	8,385	34,699
前年同期比	△51.9%	△48.8%	+65.9%
経常利益	19,500	10,893	39,053
前年同期比	△50.1%	△41.7%	+71.9%
当期純利益	15,000	8,455	28,035
前年同期比	△46.5%	△38.2%	△2.0%

※伸び率は前年度を1-12月ベースに直して比較した参考値

売上原価および販管費の推移

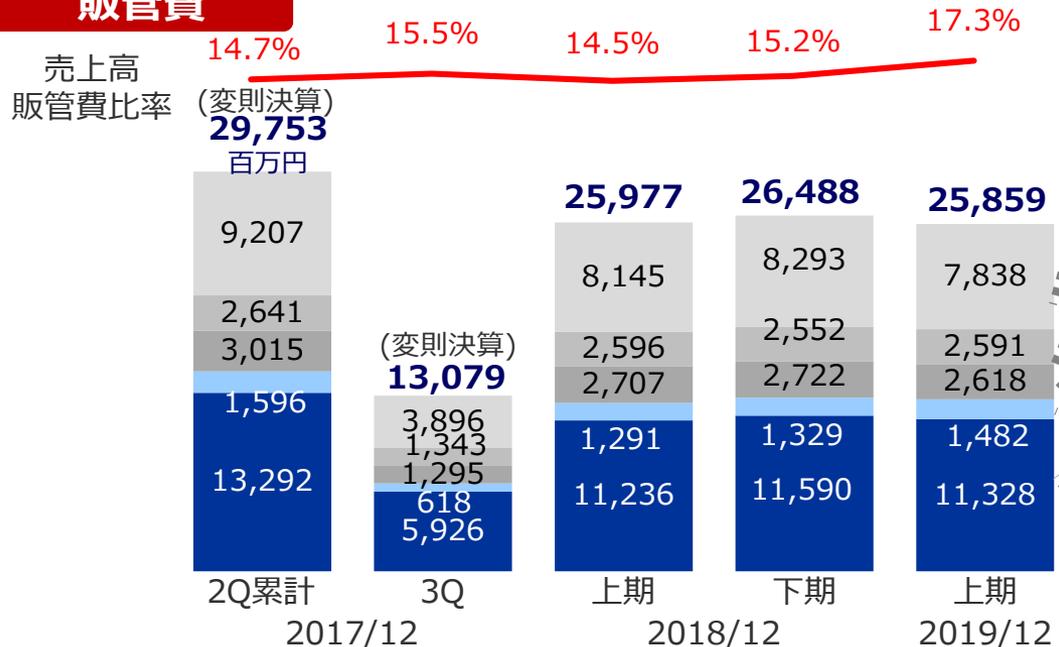
売上原価



原価率は前年同期比+2.4ポイント上昇
・売上高の減少

※2017/12は主に国内9ヵ月、海外12ヵ月の変則決算

販管費



その他 | 前年同期比 △306百万円、△3.8%

研究開発費 | 前年同期比 △5百万円、△0.2%

販売・物流費 | 前年同期比 △89百万円、△3.3%

減価償却費 | 前年同期比 +191百万円、+14.8%

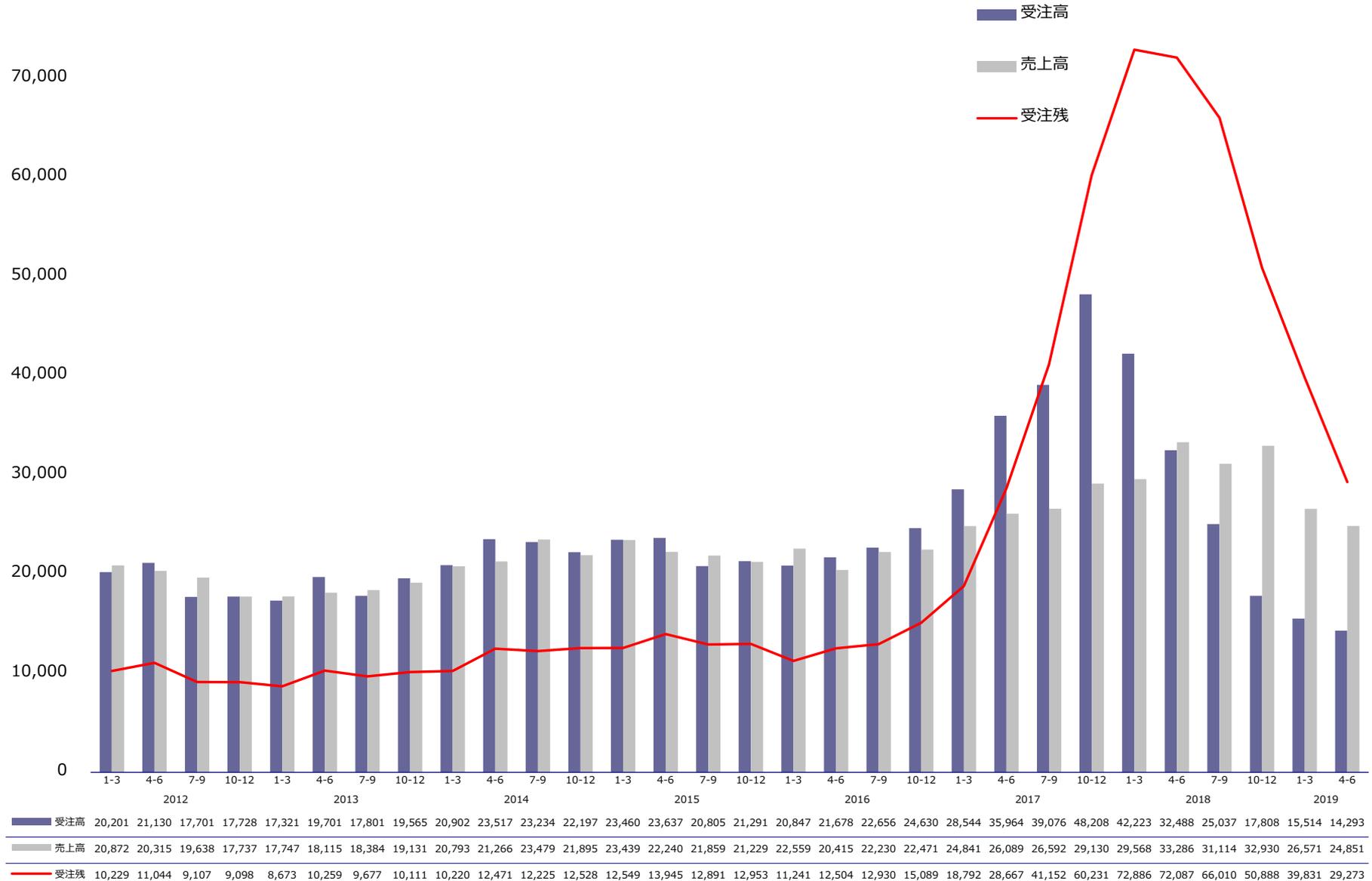
人件費 | 前年同期比 +92百万円、+0.8%

※2017/12は主に国内9ヵ月、海外12ヵ月の変則決算

【補足資料】受注高・売上高・受注残高の推移（単独国内）



(100万円)
80,000



【補足資料】業種別受注高の推移（単独）

(100万円)

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

— 工作機械
— 一般機械
— エレクトロニクス

	2012				2013				2014				2015				2016				2017				2018				2019	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
工作機械	3,681	3,721	3,536	3,114	2,117	2,439	2,683	2,753	3,129	4,004	4,188	4,160	4,370	4,339	3,014	2,875	2,715	2,800	2,575	2,630	3,353	5,879	6,213	8,076	5,976	5,534	4,139	2,489	1,737	1,355
一般機械	3,300	3,301	2,797	2,878	2,782	3,272	2,972	3,133	3,545	3,908	3,398	3,466	3,813	4,183	3,561	3,203	3,682	3,671	3,662	4,083	4,846	6,798	6,730	8,573	7,193	6,021	5,130	3,391	2,485	2,287
エレクトロニクス	3,519	4,337	2,514	3,037	3,152	3,852	2,774	3,146	3,492	4,446	4,547	4,177	3,779	3,628	2,896	3,784	3,485	4,649	4,697	5,867	6,816	6,780	8,142	10,442	8,967	5,425	4,575	2,618	2,793	2,717